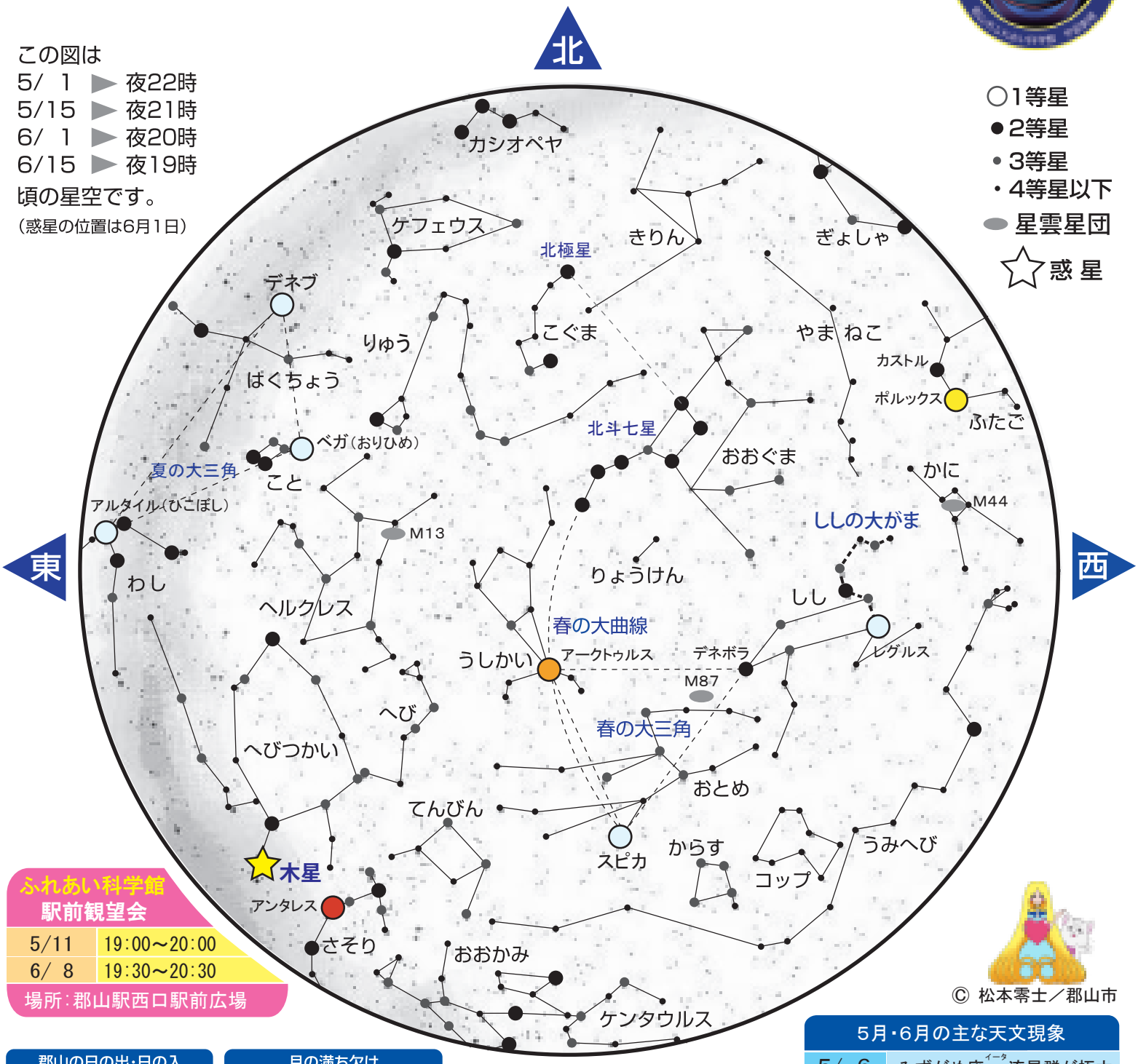
2019年 5月▶6月の星空

この図は
5/ 1 ▶ 夜22時
5/15 ▶ 夜21時
6/ 1 ▶ 夜20時
6/15 ▶ 夜19時
頃の星空です。
（惑星の位置は6月1日）

○1等星
●2等星
・3等星
・4等星以下
星雲星団
☆惑 星



© 松本零士／郡山市

ふれあい科学館 駅前観望会

5/11	19:00〜20:00
6/ 8	19:30〜20:30

場所：郡山駅西口駅前広場

郡山の日の出・日の入

5/ 1	4:44	18:28
5/15	4:30	18:40
6/ 1	4:19	18:54
6/15	4:17	19:01

月の満ち欠け

新 月	5/ 5, 6/ 3
上 弦	5/12, 6/10
満 月	5/19, 6/17
下 弦	5/27, 6/25

※上弦、下弦は半月です。

5月・6月の主な天文現象

5/ 6	みずがめ座η（イータ）流星群が極大
6/11	木星が衝
6/22	夏至
6/24	水星東方最大離角

この５月から新元号「令和」がスタートし、新しい時代が幕を開けます。この時季、南の空では、うしかい座の「アークトゥルス」とおとめ座の「スピカ」の２つの一等星が目を引きます。「アークトゥルス」には“熊の番人”という意味があり、北の空にあるおおぐま座を見張るように輝いています。「スピカ」には“刺々しいもの”または“麦の穂”という意味があり、農業の女神「デーメーテール」が持つ麦を表しています。橙色と白色の色の違う２つの輝きにご注目ください。

おとめ座には、初めてブラックホールシャドウ（ブラックホールを取り巻く高温のガスから見えるシルエット）が撮影されたことで話題となった巨大楕円銀河M87があります。太陽の数兆倍もの質量を持ち、「おとめ座銀河団」の中心的な天体です。撮影された姿と理論からこの銀河のブラックホールは太陽の65億倍の質量があることもわかりました。このような観測を通して、銀河中心ブラックホールの誕生のしくみが解き明かされていくと期待されています。

６月には惑星にも注目です。木星が11日に衝（太陽ー地球ー木星と一直線に並ぶこと）となり、一晩中その姿を楽しむことができます。追いかけてくるように見える土星や月と併せてお楽しみください。さらに、下旬には水星が日没後の西の空で輝き、火星との共演にもご注目ください。